

平成28年度秩父市社会福祉協議会地域情報交換会概要

1 情報交換会の実施目的

この情報交換会は、秩父市社会福祉協議会が「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を進めるにあたり、地域福祉を担う中心的立場の人たちから直接、地域における福祉課題、社会福祉協議会に対する要望や活動などの意見や情報を交換するため、地域情報交換会を開催しました。

2 情報交換会の実施方法

〔1〕開催日程・会場

| | 開催日時 | 会場 |
|------|-------------------------------|--------------------------------|
| 第1回 | 平成28年11月11日(金) 14:30~16:00 | 秩父市吉田農村環境改善センター 「やまなみ会館」会議室 |
| 第2回 | 平成28年11月29日(火) 15:00~16:30 | 秩父市大滝老人福祉センター相談室 |
| 第3回 | 平成28年12月9日(金) 14:30~16:00 | 秩父市影森公民館 ホール2 |
| 第4回 | 平成28年12月19日(月) 14:30~16:00 | 秩父市荒川農村改善センター 会議室 |
| 第5回 | 平成29年1月31日(火) 14:30~16:00 | 秩父市高篠公民館 集会室 |
| 第6回 | 平成29年2月6日(月) 14:30~16:00 | 秩父市原谷公民館 ホール |
| 第7回 | 平成29年2月16日(木) 14:30~16:00 | 中寺尾ふれあい会館 |
| 第8回 | 平成29年2月24日(金) 14:30~16:00 | 秩父市総合福祉施設羊山センター 大広間 |
| 第9回 | 平成29年3月2日(木) 14:30~16:00 | 秩父市福祉女性会館 集会室 |
| 第10回 | 平成29年3月7日(火) 14:30~16:00 | 秩父市福祉女性会館 集会室 |
| 第11回 | 平成29年3月14日(火) 14:30~16:00 | 秩父市福祉女性会館 集会室 |

〔2〕対象支部

第1回…下吉田，久長，阿熊，取方桜井，上野原，井上，上吉田東，
上吉田西，石間，太田部

第2回…大滝第一，大滝第二，大滝第三，大滝第四

第3回…久那，宮本町，栄町，大沼町，八幡町，旭町，巴町，浦山

第4回…名水久那，石原，若御子，上田野，荒川日野，荒川中央，
下白久，上白久，日向，贅川

第5回…上山田，中山田，下山田，栃谷本，栃谷，定峰

第6回…宮崎，大野原，諏訪，上黒谷，下黒谷

第7回…上寺尾，中寺尾，下寺尾，下蒔田，中蒔田，上蒔田，田村，
大田

第8回…日野田町，野坂町，熊木町，上野町

第9回…永田町，金室町，柳田町，阿保町，大畑町，滝の上町，
上宮地町，中宮地町，下宮地町

第10回…上町，中町，本町，東町，近戸町，別所

第11回…宮側町，番場町，道生町，中村町，桜木町，相生町

〔3〕参加者

以下の方々に案内をし、出席いただきました。

○秩父市社会福祉協議会理事・評議員・支部長 ○町会長

○秩父市社協在宅福祉員連合会連絡員 ○民生委員児童委員

3 情報交換会の内容

各地域において以下の内容で進行しました。

〔1〕秩父地域包括支援センターの事業説明

「秩父市の現状と包括支援センターの取り組み～みんなで目指そう

「日本一しあわせなまち」～と題して事業説明をしていただきました。

〔2〕情報交換会開催の趣旨説明

社会福祉協議会職員より社会福祉協議会の法的位置づけや役割などの説明を行うとともに地域情報交換会の開催趣旨について説明しました。

〔3〕意見交換

参加いただいた皆さんから、自分たちの地区で行っている活動についての説明や社会福祉協議会への要望などたくさんの意見をいただき、情報交換をさせていただきました。

4 情報交換会のまとめ

各地域においてさまざまなご意見をいただきました。その中には、共通するご意見もありましたので、「地域の困りごと」、「地域で思っていること」、「地域からのお願い」の3項目に分けてまとめます。

〔1〕地域の困りごと

情報交換の前に高齢者対象の事業について説明があったため、参加した方たちの目線は、高齢者の話題が中心でしたが、そのような中、ほとんどの地域において課題として出てきた話題は、「役員の担い手不足」でした。

今回参加いただいた方々は、地域で様々な役を担っている中心的な立場の方々であったため、「何かしなければいけない」という意識を大変強く持たれていましたが、実際に事業を展開するとなると「役員一人ひとりにかかる負担がとて大きい」と実感しているようです。

定年退職直後の方は、地域の力として大変強みではありますが、再就職や孫の面倒を見るなどさまざまな事情があり、役員の新たな協力者として積極的に活動していただける方が少ないという状況が伺えました。

また、地域の中でのサロン、在宅福祉員による会食会・茶話会など地域内での交流を深める機会を設けるための事業を展開していただいておりますが、「参加者の固定化」や「男性の参加が少ない」という参加者に対することや「内容のマンネリ化」という事業のソフト面、「集まりやすい会場が確保できない」、「会場までの移動手段を確保するのが大変」といったハード面の課題も共通事項として挙がりました。

老人クラブに関する話題も挙がっており、クラブの課題としても「60歳代の加入が少ない」といった課題を抱えていました。

その他、地域において生活している方の情報の把握について「しっかりできている」と感じている地域と「そうでない」と感じる地域があり、個人情報の取り扱いについて苦慮していることも伺えました。

〔2〕地域で思っていること

地域の中で「世代を超えて」、「対象者を特定しない」交流できる場を持ちたいと思っており、その気持ちに沿った事業を行っていました。

そして、これからは、年齢に関係なく元気な人が支える仕組みづくりの必要性も感じているようでした。

また、社会福祉協議会の知名度については、「ほとんどの人が社協のことを知らないと思う」という意見や「広報紙（社協だより）の字が小さい」という意見もいただきました。

〔3〕地域からのお願い

地域から一番多く出た要望は「在宅福祉員の要件や活動内容の見直し」でした。

「連絡員が出席する毎月の会議が負担」、「本来と活動とは異なる活動に疑問を感じる」、「75歳未満で担い手を探すのは、勤めに出ている人も大変」といった意見からこのような要望が出ました。

次に多く出た要望としてはサロンに関することでした。

「いろいろな所から出る助成金の仕組みをわかりやすくしてほしい」、「集まりやすい会場を確保してほしい」、「会場までの交通手段を確保してほしい」などといった要望がでました。

また、社協の事業に対する要望として「地域で元気に生活できる仕組みづくりをしてほしい」、「災害時のフォローをしてほしい」、「イベント開催時の出演者の発掘などプログラム開発をしてほしい」といった要望が挙がりました。